

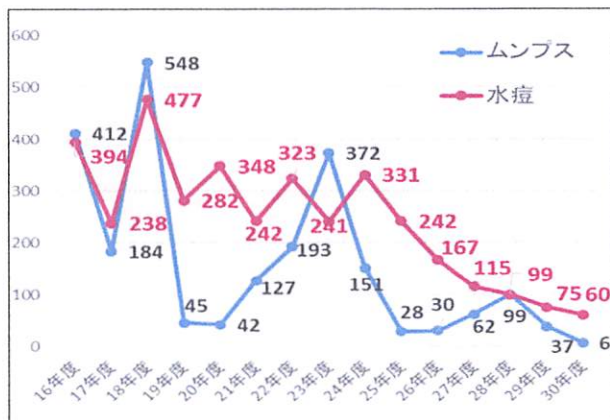
# 週間感染症情報

2019年19週 2019年5月6日より2019年5月12日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	
ムンプス(おたふくかぜ)	
百日咳	
溶連菌感染症	15
手足口病	4
ヘルパンギーナ	2
伝染性紅斑	1
感染性胃腸炎	47
ロタウイルス(再掲)	4
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	1
伝染性膿痂疹(とびひ)	11
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	2
RSウイルス感染症	
マイコプラズマ感染症	
ヒトメタニューモウイルス	1
インフルエンザ(臨床診断含む)	6
インフルエンザA	3
インフルエンザB	3

感染症は少なかったです。夏日に春の運動会の練習が重なり、熱中症の患者さんも来院するようになりました。連休後には、発熱が遷延し気道症状の強い感染症(ヒトメタニューモウイルス)は減少しました。手足口病やヘルパンギーナなど夏のウイルス性疾患の報告が増えています。伝染性膿痂疹も増えました。感染性胃腸炎は増えています。ロタウイルスの報告がありました。ノロウイルスもあるようです。溶連菌感染症は、総社市内全域で流行しているようです。

水痘・ムンプスの年度別報告のまとめは左下グラフの通りです。30年度は水痘60例、ムンプス6例でした。両ワクチンの未接種者の比率は、同時接種の影響もあり、10%前後でした。ワクチン接種率が上昇して流行の中心であった、幼児の患者はほとんど見かけなくなりました。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> 変更になりました。)

